

發行兼編輯人 川崎文治

常警新聞

刊夕日十二月七

定部金貳錢 成五錢十二
一ヶ月廿錢 行一
郵税五厘 料五十錢
日刊 休
日祝日
日

發行所 常盤毎日新聞社
福島縣石城郡平町長橋町廿五番地

葡萄酒 葡萄藤 佐藤

と酒萄葡
元造製密實果

通前所役郡町平
舖酒萄葡萄藤佐

常警文藝

近詠

しらばさぎ
幕ひよる子等いだきつゝ
赤々と照る夕やけを見い
りたるわれ
幼子を抱きて居りし夕べ
にて鳥飛び行くを見入
たりけり
ゆれもせぬ新川べりの青
若葉赤き夕日の照り榮え
て見ゆ

魚釣る人等も見えて初夏
の池の端ひそかに夕づき
にける
稲の葉のあやふく光る宵
なれば唯わけもなく吹く
口笛の音

青白き光りを浴びて五月
雨の霧光りたり櫻若葉よ
童三人馬引き出して遊び
居たり夕暮時の田舎道に
て

夕焼に初めたる空に流れ
たり唯静々と汽車の煙は
幼子を抱きてあれば初夏
の夕暮なれど笑みて眠り
き

眠りたる幼子ゆりて空見
れば鳥の飛ぶなり歌浮む
なり

米松

建物請負一般木材業

磐城建物株式會社

平町五丁目電話五一八番

貸家廣告

裏地番八十町川新町平
裏地地一十三町同
一(向宅住家平及建階二)一
下越申御記下の方御の望希御

町川新 町平
吉勇野中

遠藤パン

有聲座隣

小僧さん入用
喰べてたいしい

内科・胃腸科・婦人科
十二指腸虫病科
花柳病科・X光線科

松村病院

平町南町電話一〇七番

内科・外科・耳鼻
咽喉科・花柳病科

高久病院

平町田町電話五二三番

内科・外科・花柳病科
耳鼻咽喉科・婦人科

赤心堂病院

平町田町電話四七五番

常警論壇

免れ難き 政憲の分裂

政友會が目下政府の手に依つて立案中である税制整理案に對して如何なる態度をとるか、政界に於ける興味ある中心問題である。政友會の幹部級は懇親會に名を藉りて協調持續と云ふが如き事を天下に聲明して以來、兩派は相互に隠忍自重をしたのか、惡口も聞こへない様だ。が果して永くこの現狀を維持する事が出来るや否や、こ

(一) 政界通人

免れ難き 政憲の分裂

れ又大に注目に値する所のものである。殊に今度の税制整理案なるものは、多年政友會が天下に聲明してゐた地租移讓の運命に關する重大なるものであるが故に、今後の折衝如何に依つて政局に重大なる影響を齎すかも知れない。難きもので政府たるもの慎重に考慮研究せねばならぬ。大体今日の政友會の内部は、現内閣反抗的態度を有する硬派と協調持續をして時機到來を待つ軟派との二派とに別れて居る様である。然し如何に軟派と云はれても、幹部連が協調と云ふ精神の下に善處せむとしても、硬派と云はれる田中總裁を中

開業

(用入生書)

山本齒科醫院

齒科醫山本正惠

平町白銀町 (平驛前通)

モーター

電氣機械器具各種材料販賣
電燈電力工事設計並ニ請負
製作ハ日立製作所

販賣ハ磐城工業商會
株式會社日立製作所特約店
東京電氣株式會社特約店

器壓變とルトーモ
すまじ致を理修の

目丁四町平線盤常
番八一話電
會商業工城磐
助治佐村中

ニラススーエフカ

集募給女



心にする少壯派の反抗的態度が露骨になるならば、協調を更に持續する事は出来なくなるであらう。

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める

平町長橋町三五
川崎回文庫
(申込次第規則書進呈)

植田水力電氣株式會社

後期繰越金 三〇、〇〇〇、〇〇〇
大正十四年七月

取締役社長 金成通
取締役 安島重三郎
全 白井博之
全 高岡唯一郎
全 小林藏次
全 古川傳一
全 馬上一誠
全 根本祐太郎

監査役 根本祐太郎

追而取締役監査役任期満了ニ付改選ノ結果何レモ再選重任セリ

第拾壹期決算報告 (大正十四年六月卅日)

貸借對照表 資産之部

未拂込資本金	三、五〇〇、〇〇〇
線路屋内工作物	八、〇〇〇、〇〇〇
機械器具貯藏品	三、〇〇〇、〇〇〇
土地建物什器	二、〇〇〇、〇〇〇
有價證券	二、五〇〇、〇〇〇
假拂金	三、六〇〇、〇〇〇
賣掛	二、五〇〇、〇〇〇
發電所勘定	一、〇〇〇、〇〇〇
變電所勘定	二、〇〇〇、〇〇〇
預ケ金及現金	二、七六〇、〇〇〇
合計	四、〇〇〇、〇〇〇

負債之部

資本金	三、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金	七、五二〇、〇〇〇
假入金	六、九八七、〇〇〇
借入金	八、五〇〇、〇〇〇
未拂手形	六、九九六、〇〇〇
支拂配當金	一、七六七、〇〇〇
当期利益金	二、四二九、〇〇〇
合計	四、〇〇〇、〇〇〇

利益金處分

財産減價銷却	三、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金	四、五〇〇、〇〇〇
役員賞與金	四、五〇〇、〇〇〇
株主配當金(年一割二分)	四、五〇〇、〇〇〇
後期繰越金	三〇、〇〇〇、〇〇〇
合計	四、五〇〇、〇〇〇

柏傳の 刺子染料店

柏傳の
刺子染料店

紙五百號記念の催し

本紙は讀者諸彦の御愛顧に依り近々五百號に達する事となりました爲め是れを記念し將來の活躍を期する計劃にて左記三つの企てを試みる豫定です、詳細は順次號を追ふて報導致しますが取り敢えず御知らせ旁々豫め御聲援を願ひ致して置きます

- 自轉車遠乗會
- ハイ取り競争
- 十字語判斷

舊益前ほどの位の金流出するか？

銀行會社の配當で

金融上に一景氣を齎らす
分は其筋の方針に基き
少の減配あるも他地方若干の増配あるべき處から結局例期に比し甚だしい異動なかるべく而も郡内居住者に於て郡外商會社の株主關係で前記以外の配當を得る向きも少からず

決算月

に於て各株主に配當さるゝ利益金なるものが一体どの位の金額であるかに就き之れを昨十三年度の事實に徴するに石城郡内に於て第一種所得税の課税を受けたる銀行會社合計七十一會社の一年度

純益金

實に七十二萬五千四百四圓中、利益配當金四十七萬二千二百三十九圓で約五十萬圓に近き利益配當の二分の一はその半期の決算期に於て各株主の懐に這入る譯で本年上半期

る卅日から十日間小名濱小學校で漁村小學校教員のため水産講習會を開くが同講習は縣水産會及び東部聯合

徹底的な國調の趣旨貫徹に努む

宣傳ビラを撒布

平町人口は約三千人増加か
事の本縣下において
第一位に位してゐるからその後の増加人口も男子が約六割以上あるものと見られて居ると

打合せ

をなしたが
第一回國勢調査當時は一般町民はその趣旨の何たるかを理解せざる者多く頗る不徹底なるもので幾多の滑稽珍談まで演出したので來る十月行ふ第二回國勢調査には徹底的にその趣旨の貫徹を圖るべく近く

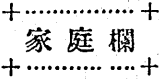
大々的

に宣傳ビラの撒布をなす事となつたが第二回調査の結果は初回當時の人口二萬一千八百九人に比し約三千人以上の人口増加を見る見込であるが從來より平町は人口の大部分を男子が占め女子の僅少な



いんろう漬

若し白瓜のあまり大きくないものを選び、あと先を切り、中實をくり抜いて一旦水洗ひをしてから、其中へ



家庭欄

野菜の豊作で飯が食へぬ

値段が安くて生産者が泣く

平町内に來る野菜類は季節の走り物以外全部附近部落より持運されるのであるが本年は稀有の豊作として市内のどの野菜屋を見ても山と積まれ相場も近來にない低落を告げてゐるが問屋側も亦生産者側もこれではめしにならんと口説いてゐる平市場における主なる野菜類の値段は左の如し

- 胡瓜一本二錢、茄子一ヶ
- 一錢、南瓜百匁四十錢、
- 玉菜百匁五錢、京菜百匁

五錢、豆百匁二十錢

植田青年聯合

石城郡植田町外五ヶ村聯合會は昨日午前九時より植田小學校に於て開催協議後警中滑川校長の講演があつたと

十月頃迄には

三萬圓以上

漁獲高江名の

石城郡江名濱では大字江名に鯉船十五隻、中の作に十隻あり何れも本縣漁獲高の多數を占め年々縣の優勝旗を授與されつゝあるが本年は殊に成績優良にて吉田

泥負ひ發生

川前村に
水田一町歩が全滅

傳兵衛、佐藤清八の兩氏の如きは一萬六千圓以上を漁獲し昨年一等の漁獲高に比し一萬圓の不足あるのみで十月頃までには三萬圓以上に達する見込みであると

農試分場を

農藝學校に

同窓會の協議

本縣農事試驗場石城同窓會支會會員二千餘名は近く平町に臨時總會を開く由なるが總會の目的は現在の神谷分場は設立後実績が擧がらず即ち農事智識の幼稚な石城地方に對しても何等の施設を試みないのは分場設立の意志に反するものである

販賣利用

本日郡衙にて

石城郡販賣利用組合では本日前午十時より郡衙にて役員會を開催し出席者は白井一郎、中田政吉、酒井專治、應崎貞衛、山崎與三郎の諸氏にして左の諸件を協議した

乗合自動車

電柱に激突

車体を大破

平町搔搦小路松崎自動車部の自働車が昨日午後七時頃乗客七名を乗せ四倉町に向つて疾走途中草野村地内に於て路上の小兒を避けんとし誤つて傍らの電柱に激突し車体を大破し乗客は輕傷を負ふたと

田の水を

見廻りに來て

無殘の轢死

十八日午前十時頃石城郡磐崎村地内湯本驛を距る一哩半の地點鐵道踏切において年齡六十歲位の轢死體あるを發見平警察署に届け出で係官出張檢視を爲したが同

募集

文藝其他投稿を募集します

人は磐崎村下湯長谷農水野谷好松(六)と判明田の水見廻りに來ての歸途過つて前記藤原炭礦の專用軌道に觸れ無殘の轢死を遂げたものであると

は、小口から一二分位づつ切ると印籠のやうで体裁も味もよいものです。辛いものを省いて青シシ丈入れても結構です。印籠漬は二日位で漬るものですから、鹽加減は甘い方がよいです。これは酒客の好むものですからお肴に出しても又結構です